

埼玉会だより

第31号

日退協 埼玉会



年頭にあたり

埼玉会代表幹事 石井 憲



会員の皆さま、そして、ご家族の皆さま、清々しい新年をお迎えのことと拝察申し上げます。

振り返りますと、昨年、一昨年と新型コロナに振り回された二年間でした。残念ながら、埼玉会においても満足のできる活動ができず、皆さまのご期待に沿うことができませんでした。

ようやく昨年末から正月初めにかけて、感染者が急減し、いよいよ収束かと期待感を膨らませましたが、このところオミクロンという新種株に置き換わり、また、感染者数は以前のピーク時を越すような勢いです。今年こそはポストコロナと思っていた矢先でしたので、残念でなりません。

岸田首相が経済 3 団体祝賀パーティにおいて、「今年の干支は壬寅（みずのえのとら）といわれ、『新しい動きが胎動し、そして、大いに伸びる』また、寅という字には『慎む』という意味があるそうです。すなわち、大いに伸びるときは普段以上に慎重でなければならない」という趣旨の挨拶をされました。

埼玉会においても、新型コロナに対しては今まで通り、慎重に対応すると同時に、心機一転、活発な活動を行っていく所存でございます。

皆さま方のご健勝と益々のご発展を祈念しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

埼玉会イベントのご案内

イベント幹事 菊池 正美

今後のイベント予定は、イベントごとに詳細なご案内を致します。「参加」ご希望の方は次ページ巻末の事務局まで ①e-mail または ②Fax でお申込みください。

1. 2022.01.06(木)「初詣・新年会」鷲宮神社 《予定通り実行済》
2. 2022.02.02(水)「末廣亭(新宿)落語観賞 コロナで「中止」
3. 2022.03.11(金) 埼玉会 & 孔球会ゴルフコンペ 「富貴 GC」
4. 2022.03.31(木) 所沢「東川の桜堤」観桜会 & 角川博物館

ただし現在、新型コロナ（オミクロン株）の爆発的感染拡大により「まん延防止等重点措置」が全国 34 都府県に適用中であり、「中止」もあり得ますのでご承知おきください。

「初詣」鷲宮神社

白石 崇（ふじみ野市）

令和 4 年 1 月 6 日、久喜市の鷲宮神社への初詣を実施した。雪が降り始めたあいにくの天候だったが、15 名の会員の参加をいただき開催された。

鷲宮神社は、出雲系の神社であり現在の皇室（伊勢神宮系一日照大神）とは対立する系統である。国譲りの神話から考えれば、敵方の神社といえるわけであり伊勢神宮系が隆盛のなかなかなかお目にかかれなと思う。

出雲系の証左として、大きな鳥居を潜り抜け拝殿につくわけであるが、拝殿は正面にはなく、左側にまわりこんで横から参拝するようになっていた。まさに、出雲大社と同じ構造である。

大国主神が、正面側を遠慮し横向きに鎮座したからと言われている。本殿も出雲大社ほどではないが、同じ



雪に輝く「本殿」をバックに

様式で立派であった。周りの鎮守の森には、八幡神社、諏訪神社など、8 神社が祀られ菊池さんの名解説を聞きながら楽しく参拝した。途中から雪が激しく

なったが、雪景色は却って初詣の凛とした雰囲気を感じ上げるに十分な効果があったと思う。

参拝が終了し、コロナ禍のなかしばらく遠慮していた懇親会が密になりながら 11 人で大いに盛り上がったことをご報告したい。

SDGs 協働事業の進捗報告

畠山 忠昭（川口市）

今年度から取組開始した SDGs 協働事業は「海の森・山の森事務局」と「竹とんぼ」の 2 団体です。

ご承知のとおり、新型コロナ禍が想定以上の阻害要件となり、十分な活動ができておりませんが、12 月末までの上記 2 団体との協働活動状況をご報告いたします。

なお、日退協ホームページの「SDGs 委員会」の欄にその活動が紹介されていますのでご覧ください。

URL : [SDGs 委員会](#) | [公益社団法人 日本産業退職者協会 \(jarp.or.jp\)](#)

<協働活動実績>

1. 2021 年 10 月 24 日(土)「海の森・山の森事務局」
2. 2021 年 10 月 27 日(水)「竹とんぼ」
3. 2021 年 11 月 20 日(土)、21 日(日)「竹とんぼ」

<今後の予定>

2022 年 01 月 08 日(土) 二子玉川 LOOP(玉川高島屋 S・C)での午前、午後、の 2 回予定された「親子向けのおもちゃ作り教室」は新型コロナ禍の影響で「中止」となった。

[親子で作ろう！手作りおもちゃで SDGs - 玉川高島屋 S・C\(takashimaya.co.jp\)](#)

花言葉

むべ
郁子の花



堰 (ペンネーム)

花言葉は「愛嬌」

天智天皇(中大兄皇子)が八人の子沢山の大変元気で健康的な老夫婦に出会い、「汝ら如何に斯く

長寿ぞ」と秘訣を尋ねたところ、老夫婦は「この地で取れる無病長寿の霊果を毎年秋に食します」と言いながら果実を差し出した。天皇は一口食べ、「むべなるかなと応えられたとのこと。

伝説の名はこうして名づけられた様ですが、春に新葉の脇に、中心に紅紫色の筋が入った淡いクリーム色の花が咲き、花後に暗紅紫色の果実が秋に熟します。

百人一首に

吹くからに秋の草木のしをるれば

むべ山風をあらしといふらむ(文屋康秀)

今まさに、オミクロン株嵐が吹き荒れてますが、これに効く実はないものだろうか?

会員の写真作品紹介コーナー

No.14 「初日の出」

石井 憲 (幸手市)

令和4年の元旦に近所の公園から初日の出参りをしました。今年一年の日退協会の皆さまと我が家族の無病息災さらに埼玉会の更なる発展を祈念しました。



エッセイ

道すがらのお友達

石井 憲 (幸手市)

足の衰えをカバーすべく、1時間ほどウォーキング、近くの公園に戻って、6時半のラジオ体操、初歩の太極拳を終え、帰宅するのが日課となっています。

いつものウォーキングの道すがら、重そうな三脚と望遠レンズを抱えた爺さんが何か撮影しようと待ち受けております。もう、会い始めてから1か月ほど経ちますか。1日も休まず、同じ場所で佇んでおります。会釈をするだけの挨拶をしていたのですが、毎日会うので、勇気を出して、声を掛けてみたのですが、明らかに迷惑そうな顔をされました。その後は、会釈の挨拶だけに戻りましたが、それから10日ほどしたころ、相手の爺さんから声を掛けられ、話をするようになり、ハヤブサの一種であるチョウゲンボウという鳥の飛ぶところを撮影しようと、ここで、粘っているとのことでした。日に焼け、深いしわの刻まれた顔が笑うと妙に人懐っこく感じます。私はいつの間にか、親しみを込めて、彼を「チョウゲンボウ爺」と呼んでいます。(後でわかったのですが、昭和23年生まれで、私より1歳年下でした。)

今日もまた会えることを楽しみに、ウォーキングに出発します。

秩父札所巡り「25 久昌寺、28 橋立堂」

倉片 厚子 (川口市)

コロナ禍も少し収まった冬晴れの日、西武線熊谷駅乗り換えで秩父鉄道影森駅の集合場所に降り立った。久し振りの秩父札所巡りと紅葉への期待から胸が高鳴る。25番札所久昌寺を目指して歩く。かつては美しかっただろう無残に削られた武甲山の姿を眺めながら、久昌寺入口の御手判寺(閻魔大王の石の手判)と書かれた石柱を通り、観音堂の一本造りの立像本尊聖観音様を拝する。26番札所は工事の為、浦山口を経て28番札所橋立堂へと歩を進める途中、石清水の話聞きながら目的地に到着する。橋立堂の佇まいや紅葉の美しさに見とれていると、鍾乳洞へ案内される。鍾乳洞は何回か経験している



2021.11.4(木) (25番 久昌寺にて)

が、一人やっと通れる位の薄暗い稀有な穴の中を這い進む。狭くて高さもないので幾度か頭がぶつかりそうになる。

入口でリュック等は置いて入るように言われたことに納得した次第。

その後の駅までの徒歩がとても辛く感じたのは初めての経験でした。やっとの思いで解散地の影森駅に到着。解散後有志の方々には御花畑での懇親会に向かわれました。

「平林寺の紅葉観賞」に参加して

三野 昌代 (さいたま市)

12月2日、紅葉鑑賞に相応しい好天気恵まれました。新座市の平林寺門前に集合し、堀越しに中を伺いながらワクワクしました。

すぐの拝観者迎える茅葺屋根の堂々たる総門、それにかかる紅葉はまるで絵画のようで圧倒されました。その先の中門・本堂へは禅修行の専門道場ということで立ち入りは出来ませんが、禅僧の読経の凜とした響が伝わり佇まいと相まって肅々とした気分となりました。

仏殿の左側に進むと朱色鮮やかな鯉泳ぐ放生池を見ながら、武蔵野の趣を広くとどめる境内林はいる。

こちらにもまた見事なモミジ・コナラの紅と黄が日に照らされて、どこを切り取っても写真に撮りたくなるような景色が広がって感激しました。



京都・鎌倉に行かずとも味わえる名所。紅葉以外にも四季折々の美しさを味わえるように、また訪れたいと思った平林寺でした。

解散後、北朝霞駅まで歩いた9人は駅前の「天狗」居酒屋で懇親会をしました。

いきいきシニアライフ

(発行者) 公益社団法人 日本産業退職者協会・埼玉会

代表幹事 石井 憲

事務局 畠山忠昭

事務局 〒332-0031 川口市青木 1-22-17-902

TEL&FAX 048-259-5917

e-mail jarp_saitama@yahoo.co.jp